

■ 「効果の見える治水事業」

愛媛県 奥里谷川（上浮穴郡久万高原町）砂防事業 『地域機能を守る砂防堰堤』

愛媛県中予地方局久万高原土木事務所長 越智 節雄



■ 地域住民が安全で安心して暮らせるまちづくり

久万高原町長 河野 忠康

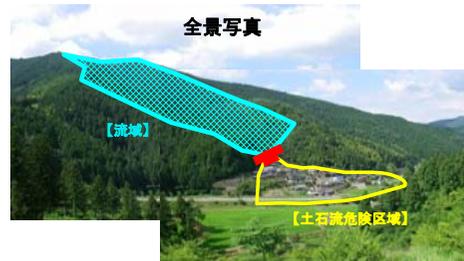


愛媛県上浮穴郡久万高原町 （奥里谷川）



■ 箇所概要

奥里谷川は流域面積約 0.15 km²の土石流危険渓流で、上流部は急峻で荒廃が著しく、溪床には不安定土砂が堆積しており、土砂流出の危険性が非常に高い。下流には人家が 10 戸あり、さらに緊急輸送道路（国道 380 号）及び避難路（町道交野川宮前線）が存在し、集中豪雨等により土石流が発生した場合には、家屋への甚大な被害が懸念されるほか、交通障害による県民生活への影響が大きいことから、砂防事業を実施したものである。



■ 事業効果

当該地区は急峻な地形で小規模な崩落等が度々発生してきた。本事業の完成により県土保全が図られ、災害時の輸送や避難及び人的被害があった際の迅速な対応が可能となった。

本年度の中予地方を中心とした豪雨（平成 29 年 8 月 7 日、日雨量 104.5 mm）においても、住民から、安心して過ごすことができたとの話もあり、本事業は地域住民の安全安心に大きく貢献している。

■ 土砂災害対策の取り組み

本県では、土砂災害から県民の生命・財産を守るため、ハード、ソフト両面から、土砂災害対策を推進しており、砂防堰堤等の施設整備にも、重点的・計画的に取り組んでいる。

今後とも、限られた予算の中、土砂災害を未然に防止する施設整備を着実に実施するとともに、土砂災害警戒区域等の指定を推進し、地域住民の安全・安心な暮らしの確保に邁進してまいります。

■ 事業概要

事業箇所：愛媛県上浮穴郡久万高原町交野川
事業期間：平成 22～27 年度
全体事業費：282 百万円
砂防堰堤：堤高 13.5m、堤長 70.7m



久万高原町は、愛媛県のほぼ中央部に位置し、旧久万町・面河村・美川村・柳谷村の 4 か町村が 2004 年 8 月に合併した高原のまちです。松山 I C から国道 33 号三坂道路を經由して約 30 分に位置し、標高 1000m を超える四国山地に囲まれた山間の地域で、総面積は 584 平方キロメートルで愛媛県土面積の 10% を占め、このうち森林面積は 430 平方キロメートルで、本県の森林面積の 12% を占めています。年平均気温 12～13℃、年平均降水量 1,800mm と冷涼多雨で、冬季には積雪があります。

本町は、急峻な地形が多くを占めており、土砂災害危険箇所は 554 箇所あります。土砂災害警戒区域の指定については、保全対象が人家 5 戸以上（ランク I）は平成 27 年 3 月に 148 箇所指定、人家 5 戸未満（ランク II・III）については、平成 29 年度中に基礎調査が完了します。平成 30 年度に地元住民への説明会を開催し、理解を得て指定の見込みです。

土砂災害への対策としては、ソフト対策として土砂災害警戒区域（5 戸以上）を反映したハザードマップを平成 29 年度において全戸へ配布予定です。また、地域の集いの場となる公民館等へは、危険箇所を明記した屋外看板を平成 23 年度から設置しており、日頃から危険箇所を周知できる対策を行っています。また、町内の小学校では、愛媛県砂防ボランティア協会主催の「砂防学習会」や愛媛県中予地方局の「砂防現場見学会」に参加し、「土砂災害とは？」～「土砂災害時にどう逃げる？」などを子供の頃から学習することで、土砂災害の認識を深めていくことを目的としています。

ハード対策としては、砂防堰堤整備や急傾斜地崩壊対策事業等を実施しており、今後においても、より一層の事業の推進を行い、地域住民が安全で安心して暮らせるまちづくりに邁進いたします。

「砂防現場見学会」



「危険箇所所周知看板」



「砂防学習会」



「砂防学習会」

